

7 月度常議員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成23年7月28日（木） 14：00～17：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 横田支部長

常 議 員 黒 田、甲 谷、小 林、白 沢、鈴 木、田 辺

浅 野、上 谷、大 西、片 山、桑 原、

支部監事 岩 下、新 谷

事 務 局 児 玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）理事会、支部長会議報告の件

- 支部長より、7月21日(木)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「日本建築学会の活性化について」、「東日本大震災への対応について」、「京都会館の保存要望書に対する回答について」などであった。支部長会議の主な報告としては、「2012年度特色ある支部活動企画募集(案)について」、「支部研究発表会の電子投稿システムについて」、「支部出版物における著作権の考え方についてについて」、「支部研究発表会プログラムの掲載メディアについて」などであった。

（3）7月度本部学術推進委員会報告

- 7月8日(金)に開催された本部学術推進委員会の報告については、鈴木克彦常議員（当支部代表本部学術推進委員）から報告が行われた。主な報告としては、「2010年度出版物販売状況」、「2010年度講習会・シンポジウム等開催結果」、「2011年度大会について」、「東日本大震災調査復興支援本部の動向」、「和田会長の活動方針について」、「2012年度大会について」、「AIJデジタルライブラリーによる大会研究集会資料の公開方針について」、「冊子版梗概集のあり方について」、「文化庁より「東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業(文化財ドクター派遣事業)」への協力依頼について」、「小委員会の設置申請について」、「公募委員選定結果について」、「2012年度開始特別研究委員会公募」、「2012年度委員会予算配分方法について」などであった。

(4) 支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。
- 6月4日～6日に開催した建築設計展の展示内容と講評会日程について意見が交わされた。
- 収支報告にある科目名称は、全支部を含めた本会全体の統一名称であるため、各科目名と当支部活動の関係について事務局から説明があった。

(5) 当支部研究委員会からの報告

○来年度の近畿支部研究発表会実施に伴う検討結果の報告

- 鈴木常議員（当支部研究委員会委員長）より委員会で審議された、近畿支部研究発表会に関する次の6件の議題に関して報告された。
 1. 平成23年度研究発表会優秀発表賞の受賞候補者報告
 2. 論文の電子投稿募集要項の内容に関する検討
 3. 不備のある論文の取り扱い（論文修正依頼）について
 4. 来年度の優秀発表賞実施に伴う検討
 5. 平成24年度研究発表会の開催時期と会場について
 6. その他（投稿論文の質の向上、代理発表など）

(6) 2012年 日本建築学会教育賞(教育業績)推薦依頼の件

- 支部長より本部に推薦までのスケジュールについて説明があった。
- 各役員は、次回(9月度)常議員会までに事務局へ候補者を推薦することとした。

(7) 2012年度 本会「特色ある支部活動」助成対象企画の募集について

- 支部長より企画募集に関する説明があった。
- 当支部の常置研究部会には、企画の申請を是非とも提出していただくよう強く要望する文書にして依頼することとした。

(8) もと大阪市立精華小学校校舎の保存に関する要望書の件

- 当支部近代建築部会(主査、橋寺知子氏)から当該の建物について、支部からの保存要望書と見解書を大阪市に対し提出したい旨の説明が事務局から述べられた。
- 作成された書類の内容について検討した結果、特段の修正はなく提出についても承認された。

(9) 本会関東支部発行図書「学びやすい構造設計 構造骨組みの特性と解析」の
講習会開催提案について

- 事務局より、日本建築構造技術者協会および本会関東支部における該当の書籍を用いての行事開催に関する打診について、書類を用いての説明があった。
- 出席役員より述べられた意見のうち、事業に関しては概ね以下の内容であった。
 - ①発行された図書は、初学者および実務者には大変に適切な図書であると判断するが、当支部主催事業として図書頒布することは好ましくない。

②関東支部が主催して、当支部と他団体が協賛などして開催されてはどうか。

③現在までの経緯を考慮すると、日本建築構造技術者協会近畿支部が開催することになった場合は、近畿支部はサポートする立場で協力することが好ましい。

- 検討された結果、③の意見を日本建築構造技術者協会近畿支部に事務局から伝えることとした。

(10) 当支部主催行事の件

○第12回講演会 「建築紛争の現状と課題(その3)」

- 期 日 12月7日
- 会 場 建設交流館8階 グリーンホール
- 主 催 当支部、本部司法支援建築会議
- 小林常議員常務事業幹事および留任の常議員事業幹事から開催までの経緯と開催内容について報告があった。
- 支部事業として開催することを承認するとともに盛会に開催できるよう支部としても協力することが確認された。

(11) 協賛依頼の件

- 次の協賛依頼を承認した。

○平成23年度セミナー第1回「京都の土壁文化を住まい・まちづくりに活かす」

- 期 日 9月10日
- 会 場 織成館岩上ホール(京都市上京区 ― 予定)
- 主 催 関西住文化研究会、京都左官協同組合

(12) 後援依頼の件

- 次の後援依頼2件を承認した。

①第4回「ゆめづくり まちづくり賞」

- 応募期間 7月15日～9月9日
- 表 彰 11月1日 「建設技術展2011近畿」内にて実施
- 会 場 マイドームおおさか
- 主 催 快適都市実現委員会(国土交通省近畿地方整備局)

②第301回「コンクリートセミナー」

- 期 日 3月6日
- 会 場 毎日新聞オーバルホール
- 主 催 (社)セメント協会

(13) その他

○研究発表会プログラムの建築雑誌掲載について

- 会長から掲載中止の意向が示されたことに伴い、席上で検討されたが結論は出なかったため、各役員は次回常議員会までに支部長に意見を申し述べることにした。

【報告事項】

(1) 研究発表会終了に伴う収支報告の件

- 今回の発表会収支に関しては、暫定収支として80万円強の剰余となる見通しであることが事務局より報告された。

(2) 当支部共催事業 技術報告会（企画:当支部材料・施工部会 7月8日(金)）終了に伴う収支報告の件

- 事務局より、当支部(企画：当支部材料施工部会)と大阪広域生コンクリート協同組合の共催にて開催された技術報告会に伴う収支報告が行われた。
- 剰余金となった15万円程度については、大阪広域生コンクリート協同組合の了解もあり当支部の収入とすることが報告された。

(3) 設計競技「課題：時木を編む建築」支部審査結果報告の件

- 審査員である新谷支部監事より、今回応募のあった65作品については、7月14日に開催された当支部審査会の結果、14作品が支部入選に決定したとの報告があった。
- 浅野常議員より、今回の応募作品に関する全体講評が述べられた。

(4) 設計競技「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計」第2回実行委員会の報告について

- 第2回議事録および今年度の応募要項が配布され、事務局より概要説明があった。
- 席上にて応募要項の内容について検討され、指摘された内容を片山常議員(支部代表実行委員)が次回の実行委員会で説明のうえ対応されるよう指示することとした。

(5) 当支部「親と子の都市と建築教室」開催の件

- 甲谷常議員(親と子の都市と建築教室拡大実行委員会委員長)より、親と子の都市と建築教室の事業として開催する、「2011 まちをつくろう」(7月30日(土)、8月6日(土)・7日(日))および「第9回 京町家の伝統技術を学ぶ」(8月20日(土))の開催について説明が行われた。

(6) (株) キンキ総合設計 西 邦彦氏からの寄付について

- 当支部の研究活動に対し援助していただける旨のお申し出があり、受領することが報告された。

以上